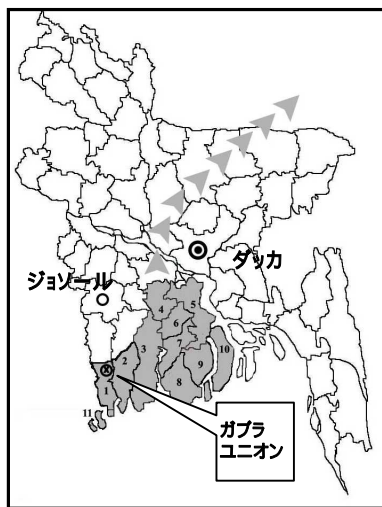


# サイクロン被災地に安全な飲み水を届けよう！

## サイクロン「シドゥル」の被害

2007年11月15日深夜、サイクロン「シドゥル」は秒速60mを超える暴風でバングラデシュを縦断し、南西部10県(地図参照)に死者4,000人、行方不明数千人、全壊家屋56万戸、部分破壊800万戸という甚大な被害をだしました。収穫前の稲が倒され、125万頭の家畜が失われ、養殖業も大打撃を受けました。ベンガルタイガーなど貴重な動植物の生存するシュンドルポンの自然林・マングローブ林は世界遺産に登録されています。この森も40万ヘクタールのうち4分の1が壊滅し、蜂蜜を集めたり、エビの稚魚を採取したりして、この森に依存している人びとも困難な状況に追い込まれています。



## 緊急救援から恒久的な支援へ

アジア砒素ネットワークは1997年から、ジョソール県とその周辺で、砒素に汚染されたチューブウエル(手押しポンプ)の水を飲んでいる人びとに、安全な水を提供し、砒素中毒患者の治療の支援をおこなっています。その村々では農作物の被害にとどまりましたが、友好関係にあるNGOのリーダー(LEDEERS)から、自分たちが活動しているシャトキラ県シャムナゴール郡ガブラユニオンの災害復旧に協力してほしいという要請を受けました。ガブラは、シュンドルポンの北東の川中にできた島です。7,600世帯のうち396戸が全壊、908戸が部分破壊、漁に出ていた5人が亡くなりました。サイクロン襲来から1カ月たち、緊急救援の時期は終え、被災地の人びとは恒久的な支援を求めています。

## ガブラ島には安全な水が必要です

ガブラ島を訪ねると、全壊した家の跡で、ノーシェル・ガジさん(62)が「家がモルモルと音を立てて揺れた。危険を感じて逃げ出した。5分後に家が崩れおちた。62年間で初めて経験する猛烈な風だった」と話してくれました。一家は、近くの池から汲んでくる水を甕にためて飲んでいました。その

池に行くと、子どもがポリバケツにいれた池の水を直接飲んでいたのでした。グラスにとってみると、私たちに飲むことがためられる濁り水です。ガブラでは、地下水が塩分を含んでいるため、35カ所の池を飲料用に使っていて、そのうち池の水をろ過するサンド・フィルターが設置してあるのは7カ所(2基は故障)だけ。サイクロンの直後は、死んだ家畜や小鳥、倒れた木や枝や葉が池に浮いて、掃除をしないと飲めませんでした。



## ポンド・サンド・フィルターの建設にご協力ください

私たちは、砒素汚染地にポンド・サンド・フィルター(PSF)を建設して、池の水を浄化して安全な飲み水にしてきました。その実績にもとづいてPSFを提供すれば、サイクロン常襲地の人びとに、いつでも安全な水を飲んでもらえます。PSFの建設費は、大型(200世帯用)35万円、中型(80世帯用、右の写真)25万円です。日本で100万円を目標に寄付をつくり、3~4基のPSFをつくって、ガブラ島のサイクロン復興に協力したいと考えます。



寄付は、ゆうびん振替で受け付けています。ご協力をお願いします。

## 特定非営利活動法人 アジア砒素ネットワーク

〒880-0014 宮崎市鶴島2丁目9-6 みやざきNPOハウス208号

TEL 0985-20-2201 FAX 0985-20-2286 URL <http://www.asia-arsenic.jp/>

ゆうびん振替口座 01980-8-6026 (口座名:アジア砒素ネットワーク)

\*振替用紙には、お名前、連絡先とともに通信欄に「サイクロン復興支援」とご記入ください。